

7月18日、アルバカーキー市は2018年上半期（1月～6月）に同市において発生した主要犯罪件数を公表しました。

同市長及び警察署長は、車両関連犯罪や侵入盗などの対物犯罪件数は顕著に減少しており、好ましい傾向にあると述べつつ、発生率は依然容認できない高さにあると注意喚起しています。

また、強姦、強盗、加重暴行などの暴力犯罪が減少傾向にある中、殺人は昨年に続き記録的な件数を示していると述べています。

なお、2017年同市において発生した殺人件数（75件）は過去20年間で最高となっており、また、同市を中心とする周辺地域において発生した自動車盗件数は前年に続き全米で最悪でした。

	2017年上半期	2018年上半期	前年同期比
【暴力犯罪】			
殺人	33件	39件	18.2%増
強姦	236件	226件	4.2%減
強盗	1,467件	1,012件	31.0%減
加重暴行	1,957件	1,851件	5.4%減
非致死銃撃	60件	63件	5.0%増
【対物犯罪】			
車上荒し	6,559件	4,523件	31.0%減
自動車盗	3,633件	3,061件	15.7%減
商業地侵入盗	1,183件	994件	15.9%減
住居地侵入盗	2,207件	2,075件	5.9%減
【その他】			
交通違反（車両停止）	17,376件	23,461件	35.0%増